

# ひらめkey（算数通信）

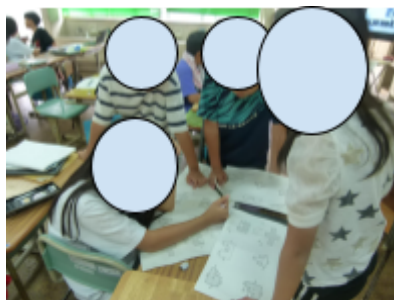
— ひらめき+Key 「ひらめくカギは、心の中に」  
算数専科 野村 伸

【「成功体験」から「質の追求」へ。】— 4年生・成長の第2フェーズから未来へ —

1学期を通して、「自分から学習に取り組もう」とする姿勢は育ってきました。しかし、2学期の初めには、まだこのような課題も見られました。

- ・「難しい問題だと、一人では手が止まってしまう」
- ・「自分のペース配分がうまくいかず、時間が足りなくなる」

意欲はあるけれど、それを「結果(できる・終わる)」に繋げる力が、もう一歩欲しい段階でした。そこで、2学期前半は、「自己調整の力がついてきた人」と「これから伸ばしたい人」をミックスしたグループ学習を行いました。私の方でチームメンバーを決め、お互いの成長を目的としたチームを設定しました。



・得意な子 ➡ 人に教えることで、あやふやな知識が  
「確実な理解」に変わる。

・苦戦している子 ➡ 友達の言葉でヒントをもらい、「わ  
かった！できた！」という成功体験

を積  
む。

を積  
む。

成果として、教科書学習の進みが、劇的に変わりました！

このチーム戦の結果、クラス全体に「スピード」と「余裕」が生まれました。

1学期前半は、教科書の学習内容を時間内に終える子どもは数名程度でした。1学期後半は、半分から3分の2の子どもが終えることができました。

2学期前半では、ほとんどの子どもたちが...単元の学習内容を、期限内に終わらせるようになりました。さらに、単元終了時に数時間の余裕を残してクリアする子が増えています。また、約3分の1の子どもたちは...圧倒的なスピードで基礎を終え、応用問題やプロジェクト学習に進んでいます。

体育館の面積を測る様子

